



長門の話題 Topics

仙崎地区ランドデザイン基本構想ができて上がる 仙崎を市全体の交流拠点に

9月30日(火)、仙崎地区ランドデザイン基本構想が大西市長に手渡されました。この構想は、J Aや漁協、商工会議所などの団体や仙崎地区の自治会長会、婦人会、発展促進協議会などのグループから18人の委員が参加した仙崎地区ランドデザイン基本構想策定委員会によって策定され

たもので、6回に渡って協議を行ってきました。

委員会の藤田秀人会長は、「仙崎だけでなく長門市全体に渡る交流拠点となるように、この基本構想を基にして実現可能な計画をお願いします」と述べました。

基本構想は、道の駅機能やレストランなどを備える「直売所」、マリレジャー機能、観光汽船との連携を図る「ウォーターフロント」、大津あきら記念館(仮称)、金子みすゞ記念館、海外引揚資料館(仮称)、近代捕鯨資料館などからなる「まちなみ」の3点が柱となっています。

この基本構想は、市全域を活性化する「ながと成長戦略行動計画」の中で、仙崎地区に新たな振興の道筋をつけるための指針となるものです。市では、この基本構想を念頭に置いて、今年度中を目処に基本計画を策定します。



▲基本構想を手にする大西市長と藤田会長(右)

油谷小学校新校舎で授業始め式

新しい校舎で授業始まる

10月6日(月)、油谷小学校新校舎で授業始め式が行われました。このほど油谷小学校の校舎や屋内運動場などの建築工事が完了したことから、授業始め式を行ったものです。

児童を代表して、6年生の中嶋穂さんが「旧校舎とのお別れはつらいがたくさんの

思い出を作り、日本一の校舎に負けないようしっかり勉強を頑張っていきたい」と決意を述べました。

油谷小学校は今後、旧校舎・屋内運動場解体工事などが行われ、平成27年7月に全面的に使用が開始される予定となっています。



▲新校舎と新体育館(奥)の外観



▲新しい教室での授業のようす

第4回楊貴妃・炎の祭典

火渡りで家内安全を願う

10月12日(日)、油谷向津具の楊貴妃の里を会場に、「第4回楊貴妃・炎の祭典」が開催されました。(財)自治総合センターが宝くじの社会貢献広報事業として実施している宝くじコミュニティ助成事業の一つとして開催されているものです。

書道パフォーマンス、中国からの雑技団の演技、楊貴妃〇×クイズなどが行われ、会場には地元の食材を使ったバーも出店しました。イベントの最後には「火渡りの儀」が行われ、来場者は家内安全や無病息災を祈願して渡りました。



▲祈願しながら火の上を渡る来場者

アグリアート・フェスティバル2014

新しい「モンペッコ」登場

10月12日(日)、ラボールゆやで「アグリアート・フェスティバル2014 大地の心をきく」が開催されました。今年度は、山口県立大学企画デザイン研究室とジャポニズム振興会が、古代から育まれてきた稲作文化を通じて自然と親しく生きることなどについて考える機会とするために開催し

たものです。また、昨年から安倍昭恵内閣総理大臣夫人と共に同研究室が取り組んでいる、農業がしたくなるおしゃれな仕事着「農ガールズコレクション」も開催され、素材などにさまざまな工夫がされた「モンペッコ」が登場し、会場を沸かせました。

10月1日(水)、ながと物産合同会社の執行責任者(販売戦略)プロデューサー)が着任し、大西市長に就任の報告を行いました。着任したのは、山本桂司氏で、同社による全国公募で選ばれました。山本氏は大阪出身の34歳。愛媛県今治市の企業に勤務していま

まずは地域の人たちと出会う

ながと物産合同会社の執行責任者、着任

ながと物産合同会社の執行責任者(販売戦略)プロデューサー)が着任し、大西市長に就任の報告を行いました。着任したのは、山本桂司氏で、同社による全国公募で選ばれました。山本氏は大阪出身の34歳。愛媛県今治市の企業に勤務していま



▲大西市長と握手する山本氏(左)



▲(左から)木村優さん、藤井リナさん、安倍昭恵さん、KAMIJOさんらがモデルとして参加した



▲今年も生地や形、色合いに特色のあるモンペッコが登場

熟練プレーが会場を沸かす

10月12日(日)、俵山スパスタジアムで「第1回長門市惑ラグビー大会兼ねりんピックおいでませ!山口2015ラグビーフットボール交流大会リハーサル大会」が行われました。大会には、京都府、兵庫県、山口県などから9クラブが参加。熟練されたパス回しや年齢を感じさせないタックルなど見ごたえのある試合が繰り広げられました。平成27年度の全国健康福祉祭(ねりんピック)は、山口県で開催されることになっています。長門市では、ラグビーフットボール交流大会と競技かるたが開催されます。



▲若々しいプレーに会場も盛り上がった

第8回ながとお魚まつり

仙崎の海の幸を、どうぞ!

9月28日(日)、仙崎市場で第8回ながとお魚まつりが開催されました。開会式では、水揚げされるケンサキイカを3人の目利きが診断した結果、肉が厚くなり、形も丸みを帯びてきたことから「仙崎ぶとイカ」として旬宣言が行われました。販売開始前から来場者は列を作り、予定より早く販売が開始されると、来場者は希望する魚を購入していました。魚のつかみ取りが始まると、小学生がめあての魚を捕まえようと一生懸命に魚を追っていました。この日は約2万人が来場し、仙崎の海の幸を楽しみました。



▲魚の直売は仙崎の海の幸を買い求める人であふれた

海上で迅速に救助、搬送

10月9日(木)、仙崎海上保安部で感謝状授与式が行われました。感謝状を受けたのは、山口県漁協立石支店所属の鶴進丸船長、村川鶴男さんです。村川さんは8月21日夜、立石漁港沖で救助を求めている漁船見つけ、船内にいた男性を迅速に搬送しました。



▲表彰を受けた村川さん(前列中央)

「花燃ゆ」周布政之助役の石丸幹二さんが長門へ 信念を固く持つて演じたい

来年1月から始まるNHK大河ドラマ「花燃ゆ」に周布政之助役で出演する石丸幹二さんが9月27日(土)、村田清風記念館を訪れました。石丸さんは、「強い信念を持つて幕末を生きた周布のように、信念を固く持つて周布役を演じ抜きたい」と語りました。



▲村田清風記念館前での石丸さん

長門のPeople



谷川 愛美 たにがわ まなみ

平成9年10月、西深川板持生まれ。小学校3年生の時に陸上を始める。中学校卒業後は山口市にある中村女子高校に進学し、陸上部に入部。昨年の全国高校駅伝山口県予選では、総合2位。5区を走り区間賞。中国地区予選でも5区を走り3位入賞に貢献。中国地区代表として全国高校駅伝(都大路)出場を果たす。ベストタイムは3000m 9分41秒。5000m16分41秒。今年も都大路出場を目指す高校2年生。147cm、37kg。

故障に悩まされ、思うような練習をこなすことができない日々を過ごしてきた中村女子高校陸上部の谷川愛美さん。最初の故障は、昨年の全国高校駅伝大会の1週間前の出来事。激しい練習の翌日、ジョギング中に股関節の痛みを覚え、その痛みは日を追うごとに増し、都大路出場を断念せざるを得ませんでした。今シーズンも夏場からチームメイトとは別メニュー。苦悩の日々が続ききました。10月に入ってからは痛みも治まり、全体的練習に合流。復帰後参加した記録会で設定タイム通りの記録を出せた谷川さんは「リラクセスして走ることができた。自信になった」と胸を撫で下ろしました。体幹を鍛えてフォームの安定を図り、高校入学後一気に才能を開花させた谷川さん。部活動では、礼儀や人との関わり方、接し方も学んでいます。「何事にも感謝できるような人間になりたい」と厳しい寮生活で規則正しい生活を送り、人として選手として大きく成長しました。個人としては、3000mでインターハイに出場し、チームとしては、今月2日にきららドーム周辺で行われる山口県予選で優勝して2年連続の都大路出場を目指します。そして将来、看護師になるという明確な目標を持っている谷川さんにはささやかな夢があります。「父とハーフラソンに出る約束をしています。父とハー」と照れくさそうに笑顔を見せました。